

政策統括官 (社会保障担当)

政策統括官（社会保障担当）では、厚生労働省における社会保障制度のコントロールタワーとして、総合的かつ基本的な政策の企画・立案とその推進に取り組んでいます。

社会保障と税の一体改革



社会保障制度のコントロールタワーとして

Mission

今や日本経済は社会保障抜きには語れません。急速な少子高齢化に伴い、社会保障関係費は国の一般会計の約55%を占めています。債務残高がGDPの2倍を超え、日本経済の立て直しが喫緊の課題となっている中、社会保障制度の改革も政府の重要課題です。

一方で、日本の高齢化は、多くの国民が長生きをするようになった結果でもあります。これに大きく寄与したのが、社会保障制度です。医療保険、介護保険が行き渡り、誰でも

適切な医療や介護を受けることができるようになったことが人々の寿命を延ばし、年金による所得保障が高齢期の生活を支え長寿の生活を可能にしたのです。

私たちは、このように日本を世界一の長寿国にした世界に冠たる社会保障制度を、次の世代にしっかりと引き渡していくというミッションを負っています。持続可能な社会保障制度を確立するため、不断の改革に取り組んでいきます。

【政策紹介 1】

成長戦略の開拓者になれ！

医療・介護サービスは、少子高齢化社会においても引き続き成長し、新たな付加価値を産み出すフロンティアとして、国内外から大きな期待が寄せられています。政策統括官（社会保障担当）では、厚生労働省の政策を束ねるコントロールタワーとして、成長戦略や規制改革等を通じて、真に国民の求める姿での経済成長を実現し、明日の日本のフロンティアを開拓していきます。

【政策紹介 2】

医療等分野の ICT 化の推進

急速な少子高齢化に伴い、今後、日本の医療においては、いかに「地域で」患者を支えることができるかが、大きな課題です。これまで以上に地域の病院、介護事業所等、様々な機関や職種間の連携を強化し、医療の質の向上を図ることが必要不可欠であり、この連携強化に不可欠な技術として効率的で迅速な情報共有を可能とする ICT の活用が期待されています。このため、医療情報連携ネットワークの普及促進等を図り、ICT が、この難題を解決する特効薬となるよう取組を推進してまいります。

政策統括官 (労働担当)

政策統括官（労働担当）では、日々の暮らしと直結する「労働政策」を総合的・一体的に担っています。また、その基礎となる労働経済の分析や、集团的労使関係の安定にも取り組んでいます。



総合的かつ戦略的な労働政策の策定

Mission

人は、人生の多くの時間を「働く」ことに費やします。「働く」ことは、人々の生活の基本であるとともに、生産活動を通じて経済の発展の基礎ともなるものです。

少子高齢化によって、今後、働く人の数の減少が見込まれる中で、就業を希望する全ての方が、能力を高め、その能力を存分に発揮できるように。

働き方にかかわらず、公正な処遇の下で、健康で安全に

働けるように。

また、失業等の場合にセーフティネットが確保され、再チャレンジができるように。

政策統括官（労働担当）では、これら様々な難しい課題に対し、省内や関係府省と連携しながら、総合的かつ戦略的な労働政策の策定を行っています。

【政策紹介 1】

総合的かつ戦略的な労働政策の策定

国の成長戦略や経済対策の策定などにおいて、雇用・労働政策は重要な位置を占めます。政策統括官（労働担当）では、これらについて省内の総合調整や関係府省との連携を行っています。

【政策紹介 2】

労働経済分析のシンクタンク

労働経済の短期的な動向や中長期的な課題について調査・分析を行うことが、労働経済を考える上で重要であり、毎年、『労働経済の分析』（通称：「労働経済白書」）を公表しています。66回目となる平成26年版では、「人材力の最大発揮に向けて」をテーマに、企業における人材マネジメントや労働者の職業生涯を通じたキャリア形成に着目した分析を行いました。



【「労働経済白書」の表紙】

【政策紹介 3】

公労使による政策形成、集团的労関関係の安定

労働政策は、働く現場の実態や意見を十分に踏まえることが重要です。このため、ILO条約でも雇用政策について労使同数参加の審議会を通じて政策決定すべき旨が規定されるなど、労働分野では三者構成原則が基本とされています。我が国では、公益代表・労働者代表・使用者代表の三者で構成される「労働政策審議会」を設置し、重要な労働政策について審議をお願いしています。

また、労使間で起きた様々なトラブルを解決するため、公労使三者を代表する委員で構成される行政機関として、各都道府県に都道府県労働委員会が、また厚生労働省の外局として中央労働委員会が、それぞれ設置されています。